SAP B1アダプタの使い方

マジックソフトウェア・ジャパン株式会社





目次:SAP B1アダプタの使い方

• <u>第1章 事前準備</u>

- 1.1 DIAPIのインストール
 1.2 環境変数の設定
 1.3 hostsファイルの設定
 1.4 SAP B1リソースの設定
 1.5 SAP B1サービスの設定
- <u>第2章 トリガの使い方</u> 2.1 トリガ
- <u>第3章 データオブジェクトに対する操作</u>
 - 3.1 クエリ
 - 3.2 追加
 - 3.3 更新
 - 3.4 削除













・ xpiをインストールしたサーバにDIAPI(32bit)をインストールします。

※必ず、SBOサーバにインストールされているDIAPIと同じバージョンのDIAPIをインストールします。



・ setup.exeをダブルクリックし、インストーラを起動します。

SLDサーバの接続情報を入力し「Next」ボタンを押します。

SAP Business One DI API (32-bit) - InstallShield Wizard X				
System Landscape Directory Server Details				
Specify the name and port of the System Landscape Directory Server, or enter shared folder.	the location of a			
SLD Server Name Por	t 40000			
O Shared Folder Location	B <u>r</u> owse			
< <u>B</u> ack <u>N</u> ext>	Cancel			



・ Setup Typeで「Typical」を選択し「Next」ボタンを押します。

SA	SAP Business One DI API (32-bit) - InstallShield Wizard X					
s	etup Type					
	Select a setup	type, then choose the Next button.				
	Typical	Typicall installation includes the most common components. Recommended for most users.]			
	⊖ C <u>u</u> stom	Custom installation lets you choose the options you want to install. Recommended for advanced users.				
		< <u>B</u> ack <u>N</u> ext > Cancel				



・「Finish」ボタンを押し、インストールを完了します。

SAP Business One DI API (32-bit) - InstallShield Wizard





・ ライセンスサーバ/SLDサーバの接続情報はXMLとして保存されます。

接続情報を変更する場合は、テキストエディタでXMLを編集します。



【設定ファイル】 C:¥Program Files (x86)¥SAP¥SAP Business One DI API¥Conf¥b1-local-machine.xml

maaid

1.2 環境変数の設定





1.2 環境変数の設定

システム環境変数PathにDIAPIのパスが追加されていることを確認します。





naai

C: ¥Program Files (x86) ¥SAP ¥SAP Business One DI API ¥JCO ¥LIB ¥ C: ¥Program Files (x86) ¥SAP ¥SAP Business One DI API ¥DI API 90

1.3 hostsファイル の設定





1.3 hostsファイルの設定

・ hostsファイルにライセンス/SLDサーバのIPアドレス、ホスト名を記載します。

4	hosts - 义モ帳	×
7	アイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H)	
Ж Ш	Copyright (c) 1993-2009 Microsoft Corp.	\sim
т # #	This is a sample HOSTS file used by Microsoft TCP/IP for Windows.	
*#####	This file contains the mappings of IP addresses to host names. Each entry should be kept on an individual line. The IP address should be placed in the first column followed by the corresponding host name The IP address and the host name should be separated by at least one space.	
# # #	Additionally, comments (such as these) may be inserted on individual lines or following the machine name denoted by a '#' symbol.	
т # #	For example:	
# # #	102.54.94.97 rhino.acme.com	
# # #	localhost name resolution is handled within DNS itself. 127.0.0.1 localhost ::1 localhost	
×	xx.xxx.xxx.xxx license_server	
		\sim
<		>



1.4 SAP B1 リソースの設定





1.4 SAP B1リソースの設定

- xpiスタジオのメニュー > プロジェクト > 設定より設定画面を開きます。
- ・ 左ペインで「リソース」を選択した状態で「追加」ボタンを押し、リソースタイプ「SAP B1 88」の リソースを作成します。

▲ 設定						-		×
リソース サービス ▷ プロジェクト環境 ▷ 一般環境	* 冬 し、 りソ- リソ-	新規リソース -スタイプ: -ス名:	917 7#-775 @ SAP B1 88 SAP B1 88_1	ОК	× , +r>tul			
	リソース 利用可能な外部リソース Resource details				適用 ox		キャンセ	↓ 2JL



1.4 SAP B1リソースの設定

・ 右ペインで詳細を入力します。

設定							-		>
リソース	#	名	タイプ	フォーマット	值				
SAP B1 88_1	1	サーバ	文字	100	127.0.0.1				-
サービス	2	カンパニーデータペース	文字	30	Magicsoft_JP				
プロジェクト環境	3	ユーザ名	文字	30	magic_user				
一般環境	4	パスワード	文字	30	******				ĺ
	5	License Server/SLD Server	文字	100	License Server				
	6	ライセンス/ SLDサーバー	文字	100	127.0.0.1:40000				
	7	言語	数值	4	Japanese_Jp				
	8	DBサーバタイプ	数值	1	MSSQL 2014				
	9	Windows認証	数值	1	No				
	10	DBユーザ名	文字	30	sa				
	11	DBパスワード	文字	30	*****				
	12	DI APIバージョン	文字	30					
	リソース	>> SAP B1 88 >> SAP B1 88_	1 (SAP Busi	ness One 8	3.8接続定義)				
	Databas	ie Server Name 検証							
追加 削除 口	F				ž	意用して	к	キャンナ	ŧЛ



1.4 SAP B1リソースの設定

・ 右ペインで詳細を入力します。

名	値
サーバ	SAP B1サーバのIPアドレスを設定。
カンパニーデータベース	カンパニーデータベース名を設定。
ユーザ名	SAP B1ユーザ名を設定。
パスワード	上記ユーザのパスワードを設定。
License Server/SLD Server	認証サーバ(License ServerかSLD Server)を選択。
ライセンス/SLDサーバー	認証サーバの <ipアドレス>:<ポート>を設定。</ipアドレス>
言語	言語を選択。
DBサーバタイプ	MSSQL(およびバージョン)かHANA DBを選択。
Windows認証	Windows認証する(Yes)かしない(No)かを選択。
DBユーザ名	DBユーザ名を設定。
DBパスワード	上記ユーザのパスワードを設定。
DI APIバージョン	使用するDIAPIのバージョン(88.0や90.0など)を設定。省略時はデフォルトの DIAPIが使用される。





・「検証」ボタンを押し、検証が通ることを確認します。









- xpiスタジオのメニュー > プロジェクト > 設定より設定画面を開きます。
- ・ 左ペインで「サービス」を選択した状態で「追加」ボタンを押し、サービスタイプ「SAP B1 88」の サービスを作成します。

● 設定				- 0	×
▶ リソ-ス サービス ▶ フロッエント環境 ▶ 一般環境	* &	917 7x-マット ④ 호드·田井 년구	vl		
		●新規リービス	~		
		サービスタイプ:	SAP B1 88 ~		
	\rightarrow	サービス名:	SAP B1 88_1		
			OK キャンセル		
	サービス 利用可能な公開サービス				
	Services details				÷
追加 mm U-r			適用 OK	Ŧt	パンセル



・ 右ペインでポーリング間隔(HH:MM:SS)を設定します。

🌢 設定		-		×
 ▶ リソース オリービス SAP B1 88_1 プロジェクト環境 → 般環境 				
	サービス >> SAP B1 88 >> SAP B1 88_1 (SAP Business One 8.8接続定義)			
	The objects' changes that you want to monitor. Click the Objects button to select an object. リッース オブジェクト デブロイ			0
	適用 の	ĸ	キャンセ	J.



・「リソース」ボタンを押し、マルチリソースリストで使用するリソースを選択します。

▲ 設定				- 🗆 ×	
 ▶ ワンース ▲ サービス SAP 188 1 ▶ プロジェクト環境 ▶ プロジェクト環境 ▶ 一般環境 		タイプ フォーマット 値 文字 10000 SAF B1 88_1 文字 10000 Inveloses 時刻 HH1MMS5 0001:00	SAP81 88 マルチリソースリスト		×
	サービス >> SAP B1 88 >> SAP B1 8 The objects' changes that you want to m	8_1 (SAP Business One 8.8接続定義) ontor. Click the Objects button to select an object.		Connection Properties Use Company DB Server Name	Database Nume User Passeord
			全クリア		ОК 取消





 「オブジェクト」ボタンを押し、トレースオブジェクト設定で監視するオブジェクトとオペレーションを 選択します。

削除 OK

🌢 設定			- 🗆 X
▶ リ ソース	* 8	タイプ フォーマット 僅	
▲ サービス	1 SAP B1リソース	文字 10000 SAP B1 88_1	
SAP B1 88 1	2 トレースオブジェクト	文字 10000 Invoices	
▶ プロジェクト環境	3 ポーリング間隔	時刻 HH:MM:SS 00:01:00	
►			▲ SAP91asH2オブジェクト設定
			★ データオブジェクト 追加 更新 前除 取消 閉じる
			1 Invoices J J J
	サービス >> SAP B1 88 >> SAP B1 88_	1 (SAP Business One 8.8接続定義)	
	The objects' changes that you want to moni	tor. Click the Objects button to select an object.	
	リソース オブジェクト	7701	──→



 「デプロイ」ボタンを押すとカンパニーデータベース内にテーブルおよびストアドプロシージャが 作成されます。SAP B1トリガはオブジェクトの状態監視にそれらを使用します。

🌢 設定				- 🗆 X	
 リソース オッ-ピス SAP B1 88,1 ▶ 7025754環境 ▶ 7025754環境 	 * 先 SAP 8139-ス トレースオフリェクト ボーリック問題 	917 24-32h 组 文平 10000 SAP 8 文平 10000 Invoic 時刻 HHMM55 0001	1 84_1 ns 00 20		
道加 回来 D-F	The objects' changes that you want to	9701	eket an object. テーブル名 ストアドプロシージャ名	SBOサ- (旧バ- SBO_S	-バ名_カンパニーデータベース名_magic_xpi_trigger -ジョンのxpiではibolt_trigger) SP_PostTransactionNotice

第2章 トリガの使い方



2.1 トリガ





2.1 トリガ

【設定画面の設定例】



項目	値
サービス定義	プロパティペインで選択したSAP B1サービスの定義情 報が表示されます。
データオブジェクト	サービス定義で選択したオブジェクトのみ選択可。
オペレーション	サービス定義で選択したオペレーションのみ選択可。
終了アクション	トリガ処理終了時、ibolt_triggerテーブルのデータに 対するアクションを選択します。
トリガークエリ保存	トリガによって作成されたクエリを格納する変数を指定。
トリガー情報保存	「XML」を選択し、結果を格納する変数を指定。



第3章 データオブジェクトに 対する操作



3 データオブジェクトに対する操作

【データオブジェクト】

- SAP B1コンポーネントはDI APIを使用して、SAP Business Oneのデータオブジェクトに 対して、クエリ、追加、更新、削除の操作を行うことができます。
- SAP Business Oneに対して、リクエストXMLを送信し、クエリ実行時のみレスポンスXMLを 受け取ります。
- ・ クエリ、更新、削除実行時は必ず主キーを指定します。
- クエリ実行時に、送り元に複数のレコードがある場合、リクエストXML、レスポンスXMLともに 複数レコードとなります。
- ・ 追加、更新、削除実行時に、送り元に複数のレコードがある場合、リクエストXMLは複数 レコードとなります。



3.1 クエリ





3.1 クエリ

【設定画面の設定例】

▲ SAPB1 8.8 設定 ×		項目	値
接続 リソース名: SAP B1 88_1		リソース名	プロパティペインでSAP B1リソースを選択。
セッション保持: マ オペレーション		オブジェクトタイプ	「データオブジェクト」を選択し、ボタンを押しオブジェクト リストからオブジェクトを選択。
オフジェクトタイフ: データオフジェクト ~ Invoices オペレーション: クエリ ~		オペレーション	「クエリ」を選択。
		結果保存	「変数」を選択し、結果を格納する変数を指定。 APIから戻されるレスポンスXMLが格納されます。
国長はフェンバノフェン XML 出力タイプ: 3. ExportImportMode ~ 結果保存: 変数 ~ … C.UserBlob			
クエリステータス: 空XML ~			
マルチオペレーションエラー動作 エラー動作: 終了 ~			
XSDリフレッシュ OK 取消			

クエリで取得したXMLのスキーマ情報(XSD)は下記フォルダにあります。 ¥ソリューションフォルダ¥プロジェクトフォルダ¥sapb1_88¥SAPB1サーバIPアドレス_カンパニーデータベース名¥オブジェクト名.xsd



3.1 クエリ

magic

【マッパ画面の設定例】



3.2 追加





3.2 追加

【設定画面の設定例】

🌭 SAPB1 8.8 設定	Ē						Х
接続							
リソース名:	SAP B1 88_1						
セッション保持:	\checkmark						
オペレーション				_			
オブジェクトタイプ:	データオブジェクト	× .	Invoice	s			
オペレーション:	追加	~					
新オブジェクトキー:	C.UserString						
高度なクエリオブ	ション						
XML 出力タイプ:	3. ExportImportMode	\checkmark					
結果保存:	変数	۷ .					
クエリステータス:	空XML	\sim					
マルチオペレーショ	シエラー動作						
エラー動作:	終了	~					
XSDリフレッシュ			[0	к]	取消

項目	値
リソース名	プロパティペインでSAP B1リソースを選択。
オブジェクトタイプ	「データオブジェクト」を選択し、ボタンを押しオブジェクト リストからオブジェクトを選択。
オペレーション	「追加」を選択。
新オブジェクトキー	ここで指定した変数に、作成されたオブジェクトのキーが 格納されます。



3.2 追加



magic









【設定画面の設定例】

● SAPB1 8.8 設定	Х
. 接続	
リソース名: SAP B1 88_1	
セッション保持: 🗸	
⇒สペレ-ション	
オブジェクトタイプ: データオブジェクト v … Invoices	
オペレーション: 更新 ~	
高度なクエリオプション	
XML 出力タイプ: 3. ExportImportMode ~	
結果保存: 変数 🗸	
クエリステータス: 空XML ~	
マルチオペレーションエラー動作	
エラー動作: 終了 ~	
XSDリフレッシュ OK 取消	

項目	値
リソース名	プロパティペインでSAP B1リソースを選択。
オブジェクトタイプ	「データオブジェクト」を選択し、ボタンを押しオブジェクト リストからオブジェクトを選択。
オペレーション	「更新」を選択。





magic

【マッパ画面の設定例】



3.4 削除





3.4 削除

【設定画面の設定例】

	SAPB1 8.8 設定			:	X
	接続				
	リソース名:	SAP B1 88_1			
	セッション保持:				
ſ	オペレーション				
	オブジェクトタイプ:	データオプジェクト	× .	. Invoices	
	オペレーション:	削除	~		
	高度なクエリオプ	ション			
	XML 出力タイプ:	3. ExportImportMode	\sim		
	結果保存:	変数	× .	C.UserBlob	
	クエリステータス:	空XML	\sim		
	マルチオペレーショ	ンエラー動作			
	エラー動作:	終了	~		
[XSDリフレッシュ			ОК 取消	

項目	値
リソース名	プロパティペインでSAP B1リソースを選択。
オブジェクトタイプ	「データオブジェクト」を選択し、ボタンを押しオブジェクト リストからオブジェクトを選択。
オペレーション	「削除」を選択。



3.4 削除

magic

【マッパ画面の設定例】

